



今年度のつぼみ組の登園が始まると同時に、つぼみハウスから泣き声の大合唱が聞こえて来ておりました。毎年の恒例の合唱でしたが、先週の頃から小さくなって来て、今では全く聞こえて来ない日が続くようになって来ました。うれしいですね♡

（「濃厚接触者に！」との連絡がご家庭から来るようになり、緊急事態下でもあり、メールでお知らせの通り分散保育とさせて頂きます。ご了承ください。）

■こどもはあそびの天才です！大型遊具なくても喜々としてあそび、自分の能力を高めていきます。

園庭の遊具はほとんど個人用です。

スクーター、ひとり乗り2輪車、3輪車、4輪車に背の高い樽が3個、そして恐竜や大きな亀と居ます。人気はゼロ無しの自転車も順番待ち！！

自転車は、大・中・小と色々ありますが、乗りこなしてくるとペダル無しキッカーに人気集中して、2輪自転車乗りこなすの早道になっております。



人工芝なので、さか立ちの練習にも絶好。さか立ち成功に向けて大きな成果を挙げているし縄ごびにも役に立っております。

年間を通して、活用の期間は5月から10月までと半年ですが、こどもたちの育ちには絶好です？

■昨年度はなんとか乗り越えましたが、集団で唄うのと同じく感染の心配があるのが年長児たちのハモニカの活動です。

ハモニカの活動は開園当初から49年間に亘って続けて来た伝統の活動です。

ハモニカの活動を通して、こどもたちの心の育ちはとても大きくぜひ経馬に乗せてたいです。

但し、今年度はハモニカ活動の目標を例年よりも程度低く取り組み計画に致しました。

ここで、ハモニカ活動を補填べく、新しく試みるのが「ハンドベル」の活動です。

ご家庭の皆さん！
応援してください！



6人の年長組スタッフ がはります？

(心の育ちシリーズ) 宮城まり子さんの凄いことば

松下電器産業の創設者である松下幸之助さんは「経営の神様」と言われている事は広く知られておられますね。

その松下幸之助さんが財界引退後に「日本の新しいリーダーを育てたい」と私財を投じて創設されたのが松下政経塾である事は知っての通りです。

以来この塾から政界や財界は勿論の事、教育の分野にも優秀な人材を輩出している事はご承知の通りです。

「ねむの木学園」と言う施設があります。

肢体不自由なこどもたちの施設で、宮城まり子さんが園長を務めておりました。

宮城まり子さんは松下政経塾創設の時に役員の一でして、塾の食堂で食事をされた時の宮城まり子さんの言葉がすごかったそうです。

「日本の指導者を育てる塾で、プラスチックの食器を使っているのね。こんなことでは、この塾からたいした人は出てこない気がするわ」「ねむの木のこどもたちは、お茶碗ひとつ持つのもまじまじと見ている。それで食器は全て落としたり割れる陶器を使っています。落としたり割れることを知っているから、落とさないようにしっかり持とうと努力します。これが教育です」と。

経済の原則から言えば割れない食器！！

しかし、教育は経済と根本的に違うのだと知らされました。